



令和5年6月27日

令和5年度定時社員総会 式次第

司会進行 綱島専務理事

定時総会開催の辞 齊藤康夫副会長
定時総会開催挨拶 小林義幸会長
定時総会議長選出 綱島専務理事

定時総会開催 議長
定時総会成立報告 大島事務局長
議事録署名人選出 議長

定時社員総会開催

第1号議案	令和4年度事業進捗報告及び収支報告	各部会
第2号議案	令和4年度事業決算報告及び監査報告	事務局及び大島監事
第3号議案	令和5年度事業計画案及び事業予算案	各部会
第4号議案	その他 報告 事項	議長報告
	賛助会員規定変更 役員変更	議長報告

定時総会閉会挨拶 小林副会長

一般社団法人首都圏エクステリア協会 令和5年度 定時社員総会

令和5年6月27日

日頃より一般社団法人首都圏エクステリア協会の活動及び運営にご協力ご支援いただき心より感謝いたします。令和2年より蔓延しておりましたコロナウィルスも沈静化と進み、皆様の生活も安定してきた事と安心しております。滞り気味であった協会事業活動も少しずつではございますが活性化へと進んでおります。

資格講習部会事業の国家資格ブロック建築技能士検定受験対策事前講習会の開催実施や、技能士検定実技試験を実施し多くの受験者が参加をし検定取得のために努力しております。令和4年度も多くのブロック技能士が新たに誕生したことは嬉しい限りと感じております。また、ブロック塀等診断部会も診断啓発活動のために業界イベントや首都圏の行政庁、協会会員各位に啓発の為にリーフレットの配布をし、安心して安全な街づくりにつながる活動を実施しており、少しずつでは有りますが診断依頼が増えている状況に安心をしております。令和4年度からは業界各団体と協力をして、定期的なセミナーの開催もさせて頂きました。毎回ご好評を頂き引き続き令和5年度も様々なセミナーを計画しております。令和5年度事業活動も、より力を入れて計画を練り実行出来るように進めさせて頂きます。今後も協会活動運営にご協力を、よろしくお願いいたします。

会長 小林義幸

令和5年度定時社員総会 資料

- 第1号議案 令和4年度事業報告 令和5年3臨時総会にて上程、承認、可決
- 第2号議案 令和4年度決算報告
- 第3号議案 令和5年度事業計画案及び事業予算案
- 第4号議案 その他

第4号議案のその他に関し、総会決議が必要となる議案がありましたらご提案ください。

第1号議案 令和4年度事業進捗報告及び収支報告

資格講習部会

*ブロック建築技能検定及び事前講習会の実施

技能検定は働く人の有する技能を一定の基準によって検定し、これを公証する国家検定制度。

技能検定の目的は技能者の技能習得意欲を増進させるとともに、技能及び職業訓練の成果に対する社会一般の評価を高め、働く人の技能と地位の向上を図るため実施されます。

○検定事前講習会の実施

令和4年 6月18日 学科・実技講習 1級 0名/2級 4名/3級 2名

令和4年 6月19日 実技講習 1級 0名/2級 8名/3級 2名

○実技検定の実施

令和4年 7月17日 3級実技検定 2名

令和4年 8月28日 1・2級実技検定 1級 1名/2級 8名

*東京都優秀技能者（東京都マイスター）推薦 東京都労働産業局
推薦なし

*令和4年度収支報告

○ブロック建築技能士検定事前講習会

収入	学科受講費	59,000円		
	学科テキスト代	4,400円		
	実技受講費	221,000円	収入合計	284,400円

支出	学科テキスト代	0円		
	準備委員労務費	170,000円		
	実行委員労務費	223,412円		
	実技資材費	216,370円		
	会場費	2,960円	支出合計	612,742円

○ブロック建築技能士実技検定

収入	東京都職能開協	293,800円		
	補佐員手当	243,200円		
	検定料	164,900円	収入合計	701,900円

支出	検定実行委員	376,990円		
	検定料	164,900円		
	実技資材費等	225,514円		
	会場費	3,120円	支出合計	770,524円

ブロック塀等診断部会

- ①ブロック塀診断相談受付窓口の設置完了（運用中）
ブロック塀診断専用ダイヤル050-8881-8020設置
ブロック塀診断 問い合わせ用フォームの設置
- ②行政に対するブロック塀診断啓発活動
ブロック塀診断啓発チラシ「あなたの所有しているブロック塀等は安全ですか？」
を作成（2022年4月発送）
一社首都圏エクステリア協会案内チラシ 郵送・持ち込み
- ③首都圏エクステリア協会ブロック塀診断士部会規定の作成
- ④渋谷区上原一般ユーザー邸ブロック塀診断実施
- ⑤行政依頼によるブロック塀の相談（5件）
- ⑥2022EXGにてチラシ配布
- ⑦（一社）全国建築コンクリートブロック工業会 秋季講演会にて講演

* 令和4年度収支報告

収入

収入合計 0円

支出

2022EXGでの活動費

日当 (15,000×3人) ×2

90,000円

交通費実費

12,814円

宿泊費補助 (5,000円×3人)

15,000円

※消費税込み

合計

117,814円

支出合計 117,814円

広報・総務部会

協会活動を首都圏に広め安全・安心な街づくりを広報する。また、会員に対してのフォロー活動をし、協会の活性化を進めて行く。

*ピンバッチの作成

協会ロゴピンバッチコンペの実施優秀作品を作成して会員の贈呈

*ホームページのリニューアル

正会員であるオーセブン様にホームページのリニューアルを依頼
令和4年11月完成して運用

*他団体コラボ企画を実施

12月定期セミナー開催（EX学会コラボ企画にてセミナー）
11月ブロック工業会定期講演に登壇

*施工現場保証保険制度確立のため、資料を集め検討中。

*令和4年度事業収支報告

収入	定期セミナー	133,000円	
		収入合計	133,000円
支出	協会ロゴピンバッチ	104,280円	
	ピンバッチコンペ補助費	50,000円	
	定期セミナー費	96,200円	
	定期セミナー会場費	112,970円	
	HPリニューアル	330,000円	
	セミナー用資料書籍	58,080円	
		支出合計	751,530円

決 算 報 告 書

第 3 期

一般社団法人 首都圏エクステリア協会
東京都国分寺市東恋ヶ窪2丁目8番地14

自 令和 4年 4月 1日

至 令和 5年 3月31日

第3期 決算報告書

決算報告書の詳細となります。

貸借対照表 詳細

事業内容の公益事業部門と収益事業部門の合計となります。

損益計算書 全部門合計になりますが、詳細は以下となります。

公益事業部門 294,873円

- ① 売上高 * MEX会費 * 入会金 * 技能検定料収入 * 技能士講習会費
- ② 売上原価 * 技能検定費用 * 講習会費用 * 外注費 * 施設使用料
- ③ 営業外利益 * 受取利息

収益事業部門 ▲190,898円

- ① 売上高 * 問題集等収入
- ② 売上原価 * 期首棚卸高 * 問題集仕入高
- ③ 営業外利益 * 雑収入

販売費・一般管理費 詳細

全ての項目が、公益事業として認められました。

貸借対照表(全部門)

(単位：円)

一般社団法人 首都圏エクステリア協会

令和 5年 3月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 2,866,897】	【流動負債】	【 844,479】
現金及び預金	2,407,217	未払費用	674,179
商 品	11,880	前 受 金	120,000
未 収 入 金	447,800	仮 受 金	50,300
【固定資産】	【 330,000】	負債の部計	844,479
(無形固定資産)	(330,000)	純資産の部	
ソフトウェア	330,000	【株主資本】	【 2,352,418】
		[基 金]	[2,098,320]
		[利益剰余金]	[254,098]
		(その他利益剰余金)	(254,098)
		繰越利益剰余金	254,098
		(うち当期純利益)	(103,975)
		純資産の部計	2,352,418
資産の部計	3,196,897	負債・純資産の部計	3,196,897

損益計算書(全部門)

(単位：円)

自 令和 4年 4月 1日

一般社団法人 首都圏エクステリア協会

至 令和 5年 3月31日

科 目	金	額
【売 上 高】		
M E X 会 費 収 入	1,376,000	
入 会 金 収 入	20,000	
ブ ロ ッ ク 塀 診 断 料 収 入	49,500	
技 能 検 定 料 収 入	731,500	
技 能 士 講 習 会 費	654,600	
問 題 集 等 収 入	17,600	
そ の 他 会 費 収 入	223,000	3,072,200
【売 上 原 価】		
期 首 棚 卸 高	26,730	
外 注 費	231,000	
技 能 検 定 費 用	789,954	
問 題 集 仕 入 高	58,080	
講 習 会 費 用	878,396	
施 設 等 使 用 料	243,000	
合 計	2,227,160	
期 末 棚 卸 高	11,880	2,215,280
売 上 総 利 益		856,920
【販売費及び一般管理費】		683,403
営 業 利 益		173,517
【営業外収益】		
受 取 利 息	26	
雑 収 入	432	458
経 常 利 益		173,975
税 引 前 当 期 利 益		173,975
法 人 税 等		70,000
当 期 利 益		103,975

販売費・一般管理費内訳(全部門)

(単位：円)

自 令和 4年 4月 1日

一般社団法人 首都圏エクステリア協会

至 令和 5年 3月31日

科 目	金 額	
福 利 厚 生 費	10,000	
消 耗 品 費	180,272	
接 待 交 際 費	220,856	
通 信 費	85,053	
支 払 手 数 料	132,000	
諸 会 費	25,000	
雑 費	30,222	
合 計		683,403

納 税 一 覧 表

コード:00000013

(確定)

事業年度 令和 4年 4月 1日

法人名:一般社団法人 首都圏エクステリア協会

御中

至令和 5年 3月 31日

区 分	年 税 額	予定・中間納付額	申告納付額	見込納付額	差引納付額	翌期予定納付額
法人税	円	円	円	円	円	円
地方法人税						
事業税						
所得割額						
付加価値割額						
資本割額						
収入割額						
特別事業税額						
都道府県民税	20,000		20,000		20,000	
法人税割額						
均等割額	20,000		20,000			
事業税と都道府県民税の計	20,000		20,000		20,000	
市町村民税	50,000		50,000		50,000	
法人税割額						
均等割額	50,000		50,000			
小 計	70,000		70,000		70,000	
消費税						
消費税						
地方消費税						
事業所税						
合 計	70,000		70,000		70,000	

控除所得税他 円 (別途還付額 円)
控除地方法人税 円

※ 「特別事業税額」は、特別法人事業税額です。

監査報告書

私会計監査は、去る6月21日、令和4年度決算について、決算書及び帳簿、通帳、証拠書類など関係する書類等を監査した結果、帳簿の記入、通帳や証書、証拠書類の整理・保管現金の出納は確実に処理されており、その係数が正確で、収支共に適正に執行されていたことを認めましたので報告いたします。

令和5年06月21日

会計監査 大島 好明



第3号議案 令和5年度事業計画案及び事業予算案

資格事業部会

公共及び会員の資格取得を促進し、無資格者による不適格施工の撲滅の為、地域社会の安心安全に寄与することで、ブロック塀での人的被害・間接被害をなくすし減災・防災を目的とする。

エクステリア業に必要な講習、資格検定を行うことで、多くの有資格者による質の高い管理・施工が生まれ、安心安全な減災・防災に強い地域社会を構築するために必要である。

* 公益社団法人日本エクステリア建設業協会への事業計画

* 全国ブロック建築技能士会連合会会員としての事業協力

* ブロック建築技能士検定事前講習会の開催

令和 5年 6月17日 学科・実技講習開催 6月18日実技講習を開催

* ブロック建築技能士検定の実施

令和 5年 7月16日 3級実技検定実施 8月6日・8月27日 1・2級実技検定実施

* ものづくりマイスターの派遣

* 東京都労働産業局へ東京都優秀技能者（東京都マイスター）知事賞への推薦

* 9月防災週間・ブロック塀防災月間への協力

* ブロック塀等診断士部会と協力して研修会の実施を目指す

* 令和5年度予算案

○ブロック建築技能士検定事前講習会（1級3名・2級20名・3級5名想定案）

収入	学科受講費	616,000円		
	学科テキスト代	123,200円		
	実技受講費	914,000円	収入合計	1,653,200円

支出	学科テキスト代	92,400円		
	準備委員労務費	147,000円		
	実行委員労務費	129,000円		
	実技資材費	503,358円		
	会場費	10,000円	支出合計	881,758円

○ブロック建築技能士実技検定

収入	東京都職能開協	594,000円		
	補佐員手当	212,800円		
	検定料	329,800円	収入合計	1,136,600円

支出	検定実行委員	798,050円		
	検定料	329,800円		
	実技資材費	497,275円		
	会場費	15,000円	支出合計	1,640,125円

ブロック塀等診断部会

ブロック塀診断士資格普及の啓発活動を務め、ブロック塀診断資格者のスキルを強化して、安全なブロック塀のある街づくりを目指してブロック塀診断士活動のための地盤固めをして行く。ブロック塀診断士資格を国家資格とするための診断実施や研修会実施を行い首都圏に発信して全国の診断士の力を集結してブロック塀診断士全国会を結集する事を目標とする。

* 事業内容

- ①ブロック塀診断相談受付窓口の設置（運用中）
- ②ブロック塀診断士資格者スキルアップ研修会の開催
- ③ブロック塀診断実務未経験者へのサポート、診断を実践する
- ④ブロック塀診断実務及び、報告書作成マニュアル化及び作成
- ⑤診断資料の管理（会員の閲覧可能な参考資料化等）
- ⑥行政に対するブロック塀診断啓発活動
- ⑦ブロック塀簡易診断のマニュアル化及び作成
- ⑧セミナー開催
- ⑨新設塀に対しての相談窓口の設置および事例パンフレット作成
- ⑩危険ブロック塀の解体動画配信

* 達成目標

- ブロック塀診断士資格者スキルアップ研修会を年2回以上開催
- ブロック塀診断実施促進マニュアル作成
- 改正耐震改修法講習を年2回以上開催
- 上記事業内容の達成

* 実施計画

- ①ブロック塀診断受け付け窓口設置、ホームページ及びSNSでの広報活動の拡充（Facebook、ポスティングによる）
- ②ブロック塀診断マニュアル作成および診断写真の撮り方マニュアル作成
- ③ブロック塀診断活動を広報するため建築審査課、土木公園課等の行政への広報チラシの送付及び訪問等の啓発活動。
- ④幼稚園等、教育機関へブロック塀診断への啓発活動のためのポスティング。
- ⑤被災地に於けるブロック塀の被害状況を画像等で活用したセミナーの実施。
- ⑥ブロック塀診断のオンライン見積、自動計算が可能なHPの作成。
ダウンロード可能な簡易診断書の作成。

* 令和5年度予算（支出） 800,000円

- ①WEBで会員向け無料セミナー開催、それに伴う講師料、準備費用 200,000円
- ②診断士部会のベスト制作 40枚 180,000円
- ③ブロック塀診断 簡易診断書印刷代 25円×2000部 50,000円
- ④会議費 10,000円×4回 40,000円
- ⑤通信費 発送用費用 30,000円
- ⑥EXG等協会PR活動派遣等費用 200,000円
- ⑦その他予備費 100,000円

広報・総務部会

協会の活動を広報して安心安全な街づくりに貢献する協会であることを周知してもらう。
会員のためになる事を考えて、実現化して行く。

- * ホームページの管理・広報・更新。
- * 定期セミナーの開催 年4回開催(6月・9月・12月・3月)
- * 施工現場保証保険制度の確立を目指す。
- * 各部会協力してSDGsへ参加表明のために協議をする。
- * 賛助会員企業の工場視察や商品説明会等の開催を賛助会員企業と協議して実施する。
- * 会員参加型イベントの開催の企画する。
他団体交流・ゴルフコンペ・研修視察旅行等を企画する。

* 事業収支予算案

収入	定期セミナー懇親会費	600,000円		
	イベント費(2回)	100,000円		
			収入合計	700,000円
支出	定期セミナー会場費	300,000円		
	定期セミナー謝礼	100,000円		
	定期セミナー懇親会費	400,000円		
	HP管理費	120,000円		
	リーフレット等印刷費	50,000円		
	諸雑費	80,000円		
			支出合計	1,050,000円

第3号議案ー2 令和5年度事業予算案

事業計画予算案

令和5年4月1日より令和6年3月31日

◆収入の部

○会費	正会員	27社X	30,000	¥810,000
	準会員	3名X	12,000	¥36,000
	賛助会員	6社X	100,000	¥600,000
○講習事業				¥1,653,200
○検定事業				¥1,136,600
○診断事業				¥150,000
○広報事業				¥700,000

収入合計 ¥5,085,800

A

◆支出の部

○講習事業	¥881,758
○検定事業	¥1,640,125
○診断事業	¥800,000
○広報事業	¥1,050,000
○事務局費(消耗品等含)	¥500,000
○支払手数料	¥150,000

支出合計(販売費・一般管理費) ¥5,021,883

B

今季収支予算案

¥63,917

○繰越貯金残高 ¥ 2,347,759

令和5年3月31日付

○繰越現金残高 ¥ 59,458

□前期繰越金 ¥ 2,407,217

C

□来季繰越金 ¥ 2,471,134

C+ (A-B)

第4号議案 その他 報告

賛助会員

この協会の事業に賛同し、事業を賛助するために入会した法人又は個人若しくは団体
○会費 年間 100,000円

現在に定款規程においては、賛助会員は事業を賛助する会員になっており正会員の資格が無く、議決権も与えられていない。

正会員でなければ、議決権の行使や役員(理事会)に入る事も出来ない状況である。今後のMEXの業界内での役割や活動を考えると、賛助会員(メーカー様)と共に協会運営をして、業界の底上げをする必要性が大きいと感じている。

MEXの事業内容で大きなウエイトを持つのが、ブロック建築技能士検定関連事業とブロック塀診断事業であることから、賛助会員とのかかわりが大きく共に協力して進むべきと考える。

ただし、賛助会員として事業を支えて行きたいと考えている賛助会員もある事から新たに正会員枠の賛助会員を新設する必要性を感じ変更案を提出。

賛助会員規定変更案詳細

- | | | |
|--------------------------------------|--------|--------------|
| ○ 賛助会員 | 入会金 0円 | 年会費 100,000円 |
| 協会事業を賛助する会員 | | |
| ○ 賛助正会員 | 入会金 0円 | 年会費 50,000円 |
| 正会員として議決権を行使できる
役員(理事会)として協会運営をする | | |

補足 賛助正会員に人数制限はしない
賛助正会員の理事を3名以内とする(現在の理事会人数は継続する)
賛助正会員の理事は担当者変更のあった場合は任期内で理事を引き継ぐ
賛助正会員の理事任期は1期2年とする
(理事の任期は選任後2年以内に終了する事業年度の定時総会終了時まで)

一般社団法人首都圏エクステリア協会

令和5年度組織図

